

2022年11月11日

## フィリピン共和国、マニラ首都圏地下鉄工事の契約調印 － マニラ首都圏地下鉄事業（フェーズ1）CP103工区 －

三井住友建設株式会社（東京都中央区佃二丁目1番6号 社長 近藤 重敏）は、フィリピン共和国におけるマニラ首都圏地下鉄事業（フェーズ1）CP103工区の契約調印を11月3日（木）にマニラ市内マラカニアン宮殿で行いました。

《関連リリース》

[フィリピン共和国、マニラ首都圏地下鉄工事の落札通知を受領（2022年10月07日リリース）](#)



### 【契約調印の様子】

フィリピン運輸省 バウティスタ 大臣（左端）、フィリピン共和国 マルコス 大統領（右から3番目）、森 昌文 内閣総理大臣補佐官（右から2番目）、当社 山地 斉 常務執行役員国際本部副本部長（右端）

マニラ首都圏地下鉄事業（フェーズ1）は、JICA 円借款 STEP によるマニラ首都圏北部バレンズエラ市から南部パサイ市を結ぶフィリピン初の地下鉄工事（約27km、15駅）であり、CP103工区はアノナス駅、カティプナン駅舎工事を含むイーストアベニュー駅からオルティガスノース駅を結ぶ全長約6.5kmの地下鉄区間です。

## ■工事概要

工事名称：マニラ首都圏地下鉄事業（フェーズ1）CP103 工区

発注者：フィリピン共和国 運輸省

設計：オリエンタルコンサルタンツグローバル JV

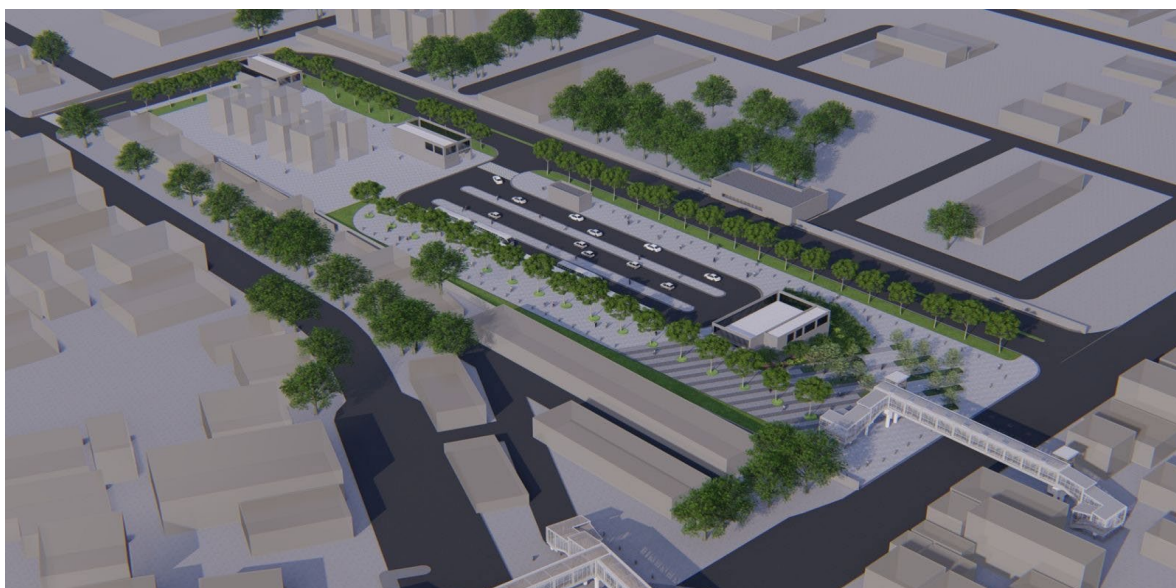
施工：三井住友建設株式会社

契約金額：約 657 億円（日本円換算）

工事期間：着工から 290 週（約 66.7 カ月）

工事概要：工事延長約 6.5km の土木・建築、設備一式工事。

2つの駅舎工事（アノナス駅 253m、カティプナン駅 277m）を含み、4つの各駅舎間を結ぶ上下線シールドトンネル区間総延長 11.97km、内径 6.1m。



【カティプナン駅周辺の完成予想図】

## ■今後の展開

当社はフィリピンの他、日本政府 ODA 支援としての橋梁・鉄道・道路・水道等の社会インフラ整備事業や、アジア各国で日系、欧米系及び地元企業事務所、工場等の建設事業等幅広く事業展開をしてきました。フィリピンにおいては、現在施工中の南北通勤鉄道事業（マロロスツツパン）CP2 工区（マニラ市北方のブラカン州マロロス市からボカウエ地区までの区間延長 14km の高架橋と 3つの駅舎を構築するプロジェクト）に続く受注となります。

今後も日本特有の技術力と長年の海外事業展開によるマネジメント力を活かして、アジア各国の社会インフラの整備事業を通して各国の経済の発展に貢献してまいります。

## ■お問い合わせ先

本件についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

三井住友建設株式会社

経営企画本部 広報室

〒104-0051 東京都中央区佃二丁目 1 番 6 号

TEL:03-4582-3015 FAX:03-4582-3204

Email:information@smcon.co.jp

以 上